

豆田町並み通信

第67号

発行者
豆田町伝
建保存会
28年7月

豆伝会通常総会開催される！

平成二十八年年度の通常総会が、六月十三日〔月〕若野屋で開催され、出席七十九名、委任出席八十一名の出席者で行われました。

最初に挨拶に立った波多野平会長代行はこの十一年度の経過を踏まえ、「伝建事業で四十九件、町並み環境整備事業で二十件合計六十九件の修理・修景事業が実施され、金額にして四億八百九十三万円の公費がこの豆田町に投入されました」と述べました。又一昨年十月にオープンした旧古賀医院には、一年八か月で三万五千七百七十五名の入館者があり、また本年四月にオープンした旧船津齒科も二か月間で一四二二名の入館者があった事も報告されました。

今後の方針として、平成三十年に伝建協の全国大会が日田市で開催される事が内定しており、「日本遺産」に選定されたことと併せて、「こうした実績を生かして地域の活性化と大会の成功に協力して頂くようお願いしたい」との発言がありました。



通常総会で挨拶を行う原田啓介市長

次に来賓として挨拶を行った原田啓介市長は「本年以降、市が主体となって行う旧古賀医院の離れ座敷や広場の整備について全力を尽くしたい。また現在先の地震の影響で国道二二二号の通行止めが続き、日田観光に多大の影響が起っており、一日も早い復旧を進めて参ります。」と話されました。

この後議案審議に入り、本年度全国大会が行われた石川県加賀市の大会報告もあり、審議の結果提案された全議案が提案通り承認されました。

全国大会で交流深める！

去る五月二十五日より二十七日の三日間、石川県加賀市で行われた伝建協の全国大会には日田市より、豆伝会の会員二名と市の職員二名の計四名が参加しました。

大会の中では、空き家対策や防災対策、更には後継者の育成対策など伝建地区が抱える課題について意見交換が行われました。

加賀市は二か所の伝建地区を擁しており、豆伝会役員は北前船で栄えた「加賀橋立地区」を視察しました。

日田市は平成三十年度に全国大会を開催する事が内定しており、参加者は次年度開催される桜川市の準備状況についても情報交換しました。



来年度の大会参加を要請する桜川市の皆さん

設計相談会開催！

四月に行われる予定であった「設計相談会」は地震の影響で延期され、五月十四日〔土〕に開催され、十一組の相談者が訪れました。

相談会では、「先の地震では家が相当揺れた。修理事物となった場合、耐震補強を事前に行う事が可能か」「今回の地震で瓦がずれた。伝建事業で修理が出来るのか」などの質問が出されました。

今後は、劣化頻度の高い順から平成二十九年以降の修理順位に掲載し、修理を行っていく予定となっています。

なお、相談会に参加出来なかった方でも修理を希望する方は、市の文化財保護課〔☎二四一七一一〕まで連絡をお願いします。



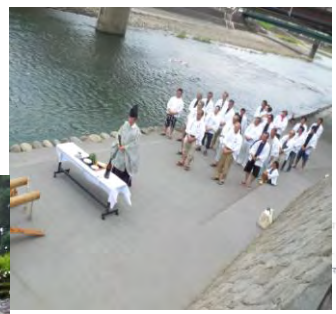
修理までの仕組みについて説明を聞く相談者

祇園祭準備進む！



一番山・中城町のパイパイ染めやミニパイパイ作りが進む（7月3日）

二番山・豆田上町の組み上がった四本柱（7月3日）



三番山・港町の花月川での棒鼻洗い行事の風景（7月3日）

四番山・豆田下町のお汐井採り行事の風景（6月25日）



上城内祇園祭のお知らせ！！
 日時 7月23日（土）17時～21時
 場所 上城内 堤神社境内
 催事 屋台村（壮年会・料理教室）
 生ビール、焼酎、コーラ
 おでん、からあげ、おにぎり
 厄除けパイパイ・あやめ販売
 元方の茶菓子・お神酒の接待



玄武の新幕を前に、決意を語る松本大和中城町山鉾振興会会長

中城町幕新調 祝賀会公開催し！
 六月十九日（日）、中城町の見送幕が復元新調されたのを記念して豆田町の紙音で祝賀会が開催されました。中城町山鉾振興会の松本大和会長は「今回復元された玄武の見送幕は百六十七年ぶりの新調幕です。旧幕を守ってきた先人の苦勞に思いをはせ、この幕を町の宝として守って行きたい」と話されました。



集まった住人の皆さんと気軽に記念撮影に応じる馳大臣（前列左より2人目）

馳大臣永山城崩落現場を視察
 五月二十九日（日）、馳浩文部科学大臣が、非公式に永山城跡の石垣の崩落現場を視察しました。その後集まった地元住民に「国としても出来る限りの支援をしたい」と語ってくれました。



九州整備局の小平田浩司局長から表彰状を受け取る、財津実行委員長と原田日田市長

千づくり郷土賞受賞
 七月七日（木）、日田市役所において、千年あかり祭りが地域の活性化に寄与したとして国土交通省の「千づくり郷土賞」の大賞の授与式が行われました。



寿通りを踊りながら進む三本松芸能隊

三本松芸能隊 どんたく日田賞受賞
 五月二十一日・二十二日行われた「日田川開き観光祭」の芸能隊として参加した三本松自治会は、寿通りからサンリブ間で行われた「どんたくカーニバル」では参加二十団体中、最高の「どんたく日田賞」を受賞しました。
 岡部博昭自治会長は「三月二十日より五月十九日まで、二十回の練習を積み重ね、最高の仕上がりで本番に臨むことが出来ました。祭り当日は早朝より厳しい暑さの中、一日約二万歩練り歩きました。更に『どんたくカーニバル』では最高賞を受賞しました。皆様の声援に感謝申し上げます」と語ってくれました。